

2-8 福島県東部におけるラドン観測 (V)

Radon Observations in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (V)

東京大学 理学部

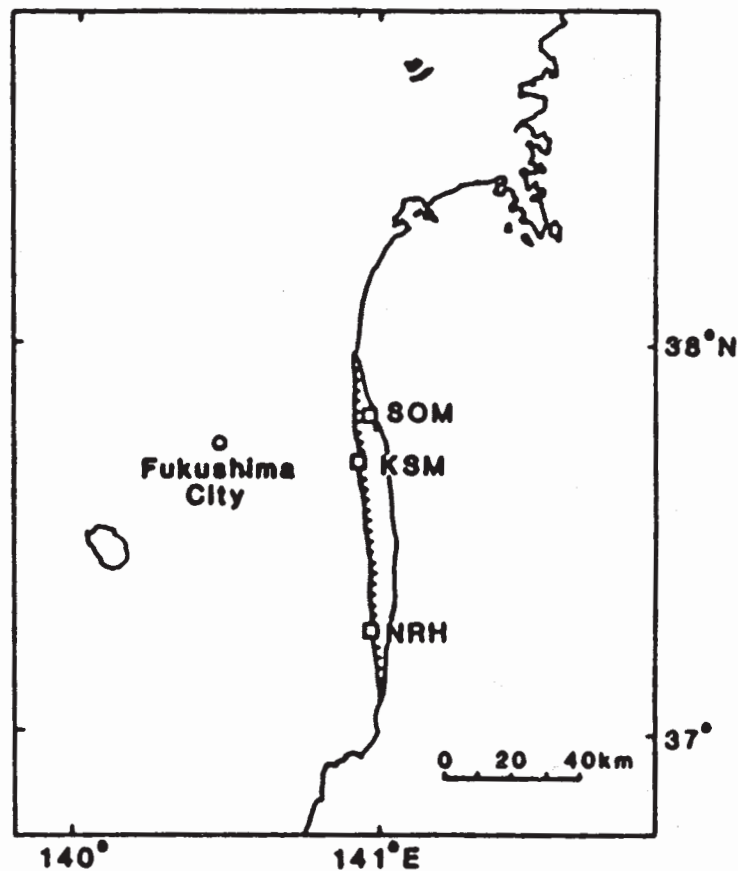
Faculty of Science, The University of Tokyo

前報¹⁾にひきつづき、福島県東部における地下水中のラドン濃度の連続観測結果(1985年11月から1986年11月まで)を報告する。

今回報告する結果は、第1図に示す相馬(SOM)、鹿島(KSM)及び楢葉(NRH)の3地点である。第2図はSOM, KSM, NRHにおける記録で、前回と同様に1時間毎のラドン濃度(積算値)の24点移動平均値を、この期間の平均値に対する相対値で示したものである。

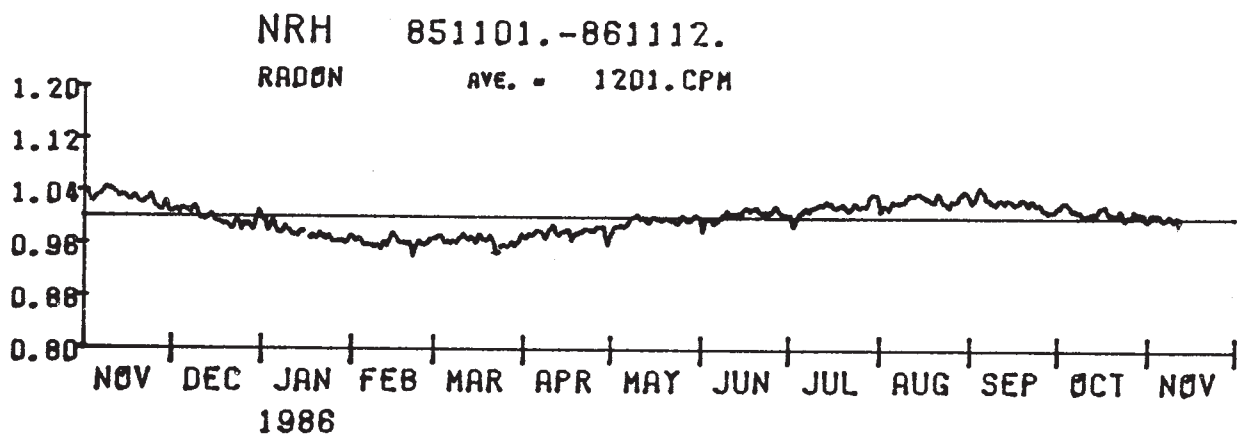
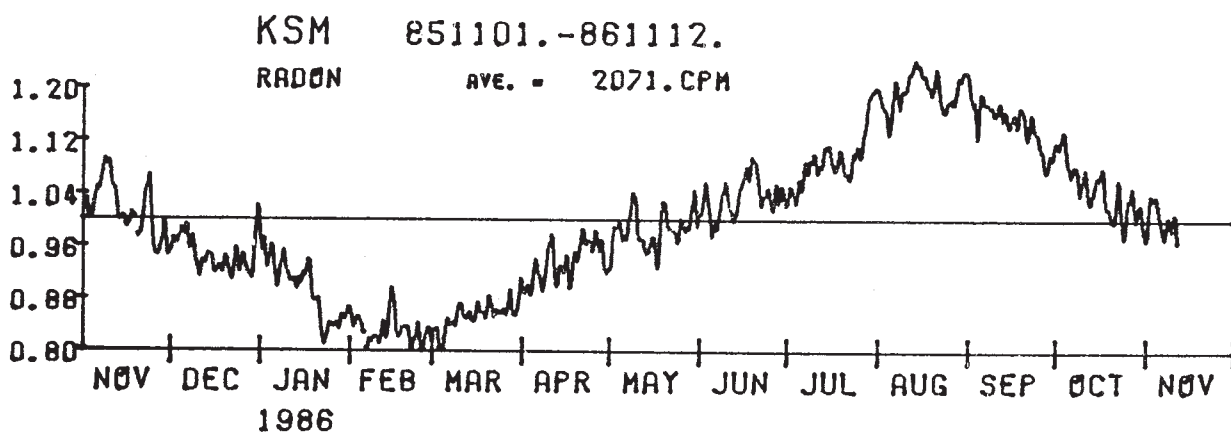
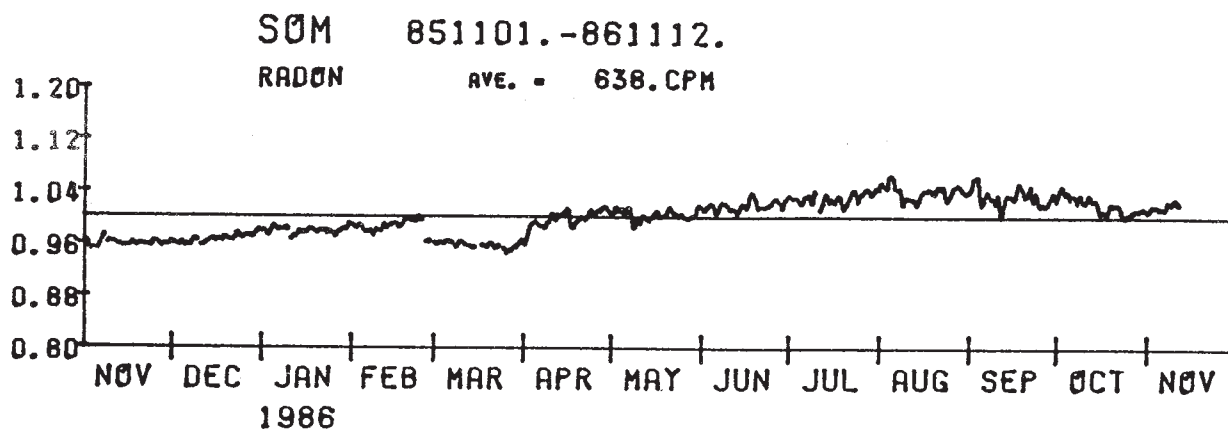
参 考 文 献

- 1) 東京大学理学部: 福島県におけるラドン観測 (IV), 連絡会報, 35 (1986), 81-82.



第1図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig. 1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture (SOM: Soma, KSM: Kashima and NRH: Naraha).



第2図 SOM (相馬), KSM (鹿島), NRH (楢葉) における地下水中のラドン濃度の変化 (1985年11月 - 1986年11月)

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in ground-water at SOM (Soma), KSM (Kashima) and NRH (Naraha). (November, 1985 - November, 1986).